



文 華

校訓

かしこく たくましく うつくしく

令和4年10月11日 第7号 文責 梶原 圭一



「学びに向かう力」を高める授業の充実を目指して

本年度、本校は苓北町教育委員会から学力充実研究校の指定を受け、子どもたちの日々の授業の充実に向けた実践的研究に取り組んでいます。これまでの熊本県や全国の学力・学習状況調査などの結果を分析し、子どもたちの「学びに向かう力」をより高めるための授業の在り方を目指すことにしました。研究のテーマを以下のように定め、全職員で話し合いを重ねながら、授業づくりを進めてきました。

「分かった、できた、もっとやってみよう」自ら学び ともに学ぶ坂っ子の育成 ～読む力を高めるための、国語科における学習活動の工夫を通して～

私たちの日常は、情報通信技術の進歩により、テレビやインターネット上の動画やゲーム等、視覚的に情報を得ることも増えてきました。以前は、様々な本を読むことで新たな知識や技術を獲得したり、物語の情景や主人公の心情を想像したりすることが必要でした。そのためにも、「読む力」は欠かせないものであったように思います。しかし、世の中が便利になる一方で、以前に比べ活字に触れる機会もずいぶん減ってきているように感じます。

すべての学びの基礎は、「読む」ことから始まります。どんなことが書いてあるのか、何を問われているのか、文章を正確に読み取ったり比べて読んだりする力を身に付けることで、ものの見方や考え方が広がっていくこととなります。子どもたちの読む力を、国語科の学習活動を工夫することで育てていくことを、本校の研究の中心に据えて実践を積み重ねてきました。

11月2日(水)に、多くの先生方を坂瀬川小に迎え、授業を公開するとともに、本校の取組についてご意見をいただく研究発表会を行います。当日は、PTA 役員の皆様にも運営のお手伝いをお願いしています。子どもたちの成長を多くの方々に見ていただく実り多き研究発表会となるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。



◆◆ようこそ 西川軍一 先輩!◆◆

広報「れいほく」でも紹介された坂瀬川小学校の先輩で、以前100メートル走の日本タイ記録を出され、オリンピックの候補選手にまでなられたことのある 西川軍一さん を本校にお迎えし、3年生以上の子どもたちにお話をいただきました。指導者としての勉強のため単身アメリカに渡り、異国の地で55年間活躍されました。この度、所用で坂瀬川に帰郷されていることを坂瀬川公民館長に教えていただき、この機会を実現させることができました。

ご自身の経験を元に、夢や希望を持つこと、その実現に向けて努力する大切さについて教えていただき、子どもたちも目を輝かせながら、身を乗り出して聞いていました。郷土の先輩の話は、心に響くものでした。

西川さんのお話は、これから生きる子どもたちにとって、大きなプレゼントとなりました。この出会いに、心から感謝申し上げます。



小体連苓北部会 陸上記録会

10月5日(水)に、町内の5・6年生が参加する苓北部会陸上記録会が行われました。一昨年から新型コロナウイルス感染症の流行のため、実施することができませんでしたが、3年ぶりに開催することができました。

これまで農村グラウンドで行ってきた記録会ですが、本年度は、初めて坂瀬川公民館グラウンドを会場として使わせていただきました。公民館のグラウンドを使用するに当たり、公民館長をはじめ、「すくすく芽生えの会」支援ボランティアの方にご協力いただき、整備をしていただきました。また、本校の高学年の子どもたちも、草取りや走路の整備を頑張ってくれ、素晴らしいコンディションの中で記録会を実施することができました。

感染症対策として競技時間を短縮する必要があるため、以前の記録会に比べて競技数を大幅に見直し、計画が立てられました。その中で、子どもたち一人一人が自らの目標に向けて、全力を尽くして競技に取り組む姿から、子どもたちに育てたい資質・能力である「**学びに向かう力**」の向上を感じました。

さらに、事前の準備から後片付けまで、子どもたちの様子を見ていましたが、一人一人がその時々で何をすべきかを考え、主体的に行動する様子が随所に見られました。本校の子どもたちのきびきびとした動きを他校の先生方からも褒めていただきました。「**考動力**」や「**かかわり合う力**」の高まりも感じられ、実り多き陸上記録会になりました。



豊かな心を育む取組

学校における道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自律した一人の人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする教育活動であり、社会の変化に対応しその形成者として生きていくことができる人間を育成する上で重要な役割をもっています。その道徳教育は、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、本校でも大切に授業づくりを行っています。

先日、2年生の道徳科の授業を全職員で参観し、よりよい授業の在り方を求めて学び合う時間を設けました。教材「きいろいベンチ」というお話を使って、みんなが使う物を大切にするために必要な心は何かを考える学習が展開されました。2年生の子どもたちが、物語の登場人物になりきって演技したり、気持ちを表現したりする様子が見られ、とても温かい雰囲気の中で授業が進んでいきました。また、自分たちの生活場面を振り返りながら、自分だけでなく周りの人の気持ちも考えながら大切に使いたいという心を温めていました。数名の子に感想を聞いたところ、これからの自分の生活に意欲を高めていることが伝わってきました。

すべての学年の道徳科の授業を見せてもらっていますが、子どもたちが伸び伸びと自分の思いを表現するとともに、友達の意見にしっかりと耳を傾けながら、考えを深めていることが分かります。職員同士で授業の進め方を学び合いながら、子どもたちの豊かな心の醸成に努めていきたいと思えます。



【2年生の道徳科の様子】



【3・4年生の道徳科の様子】



【指導教諭の先生の講話】

<今後の予定>

- | | | | |
|-----------|--------------------|-----------|-----------------|
| 10月13日(木) | 「熊本の心」授業参観・学校保健委員会 | 11月2日(水) | 学力向上研究推進校 研究発表会 |
| 10月20日(木) | 地域交流活動 | 11月10日(木) | 就学時健康診断 |
| 10月26日(木) | 5年生ふるさと体験教室 | 11月21~22日 | 6年生 修学旅行(長崎・佐賀) |